

# 6. 活用方針

## 6.1 活用基本方針

市内外の方々に「謙信ゆかりの城」として飯山城の魅力を発信するとともに、日常的な公園利用を充実させ、城下町・飯山に新たな楽しみを提供する拠点として活用を図ります。活用基本方針を次のとおり定めます。

### (1) まちなか観光の拠点 名城「飯山城」の全国発信

飯山城の魅力を活かした観光展開の強化を図ります。

### (2) 市民、来訪者がともに楽しめる城山公園

市民、観光客が一年を通じて楽しめる「まち庭公園」づくりを目指します。

## 6.2 活用計画

活用の考え方に沿って考えられる活用の方策を、参考となる例、イメージを示しながらまとめます。

### (1) 飯山城の魅力を活かした観光展開の強化

飯山城にまつわる様々な歴史ストーリーを基に、城下町の歴史や文化に関する情報を発信するとともに、周辺のまちづくりや観光利用との連携を強化しながら、新たな飯山の楽しみを生み出す拠点として活用します。

#### (ア) まちなか観光・広域観光展開の拠点として活用

飯山市では、信州いいやま観光局を中心に様々な着地型観光ツアーが開発されてきており、地域資源を活かした観光振興に取り組んでいます。

このような流れを足がかりに、今回の城山公園整備を契機として、市民の関心も高めながら、飯山城にまつわる歴史資源を巡る旅や、城を取り巻く歴史ストーリーに沿った観光の企画を進め、更なる観光客誘致につなげます。

#### 【例1】飯山城の魅力を活かした観光展開

飯山城の魅力を発信するとともに、飯山城を取り巻くストーリー展開を構築します。

また、広域の観光面においても、ゆかりのある地域と連携を図り、観光プランを企画します。

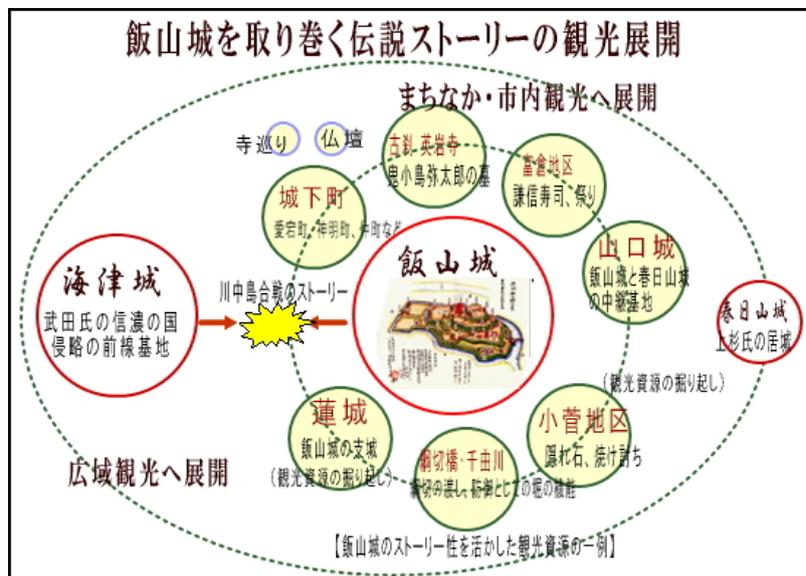


出典:財団法人 岩国美術館蔵「川中島合戦図屏風」

<イメージ>

○飯山城魅力発信キャッチフレーズ

- ・謙信ゆかりの城 飯山城
- ・武田信玄が攻め落とせなかった城
- ・謙信公築城の「飯山城」
- ・上杉・武田が争奪を争った信濃最後の砦「飯山城」
- ・戦国時代から残る梯郭式曲輪構造の「飯山城」
- ・飯山城を取り巻く伝説ストーリー



飯山城をめぐる歴史的資源を活かした観光展開の概念図

(イ) 案内拠点施設、サイン等での効果的な発信

案内拠点施設やサインの設置等を通じて、飯山城に限らず、城下町飯山の楽しみ方の案内・情報発信を強化する工夫を講じます。

【例2】案内拠点施設での発信

お休み処を改修するにあたって、次のような措置を講じ、飯山城の魅力発信拠点としての機能を強化します。

<イメージ>

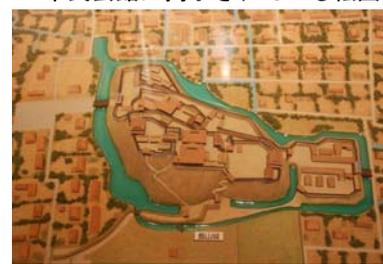
- 飯山城の歴史ストーリー等の紹介
- ふるさと館に設置されている模型や市民会館に掲げられている絵図面等を展示
- 案内スタッフを配置し、飯山城の魅力を解説



(事例 甲府城)



市民会館に掲示されている絵図



史料の展示、ジオラマの展示など  
(事例 甲府城の資料館)

ふるさと館の飯山城の模型

### 【例3】興味を引く発信の工夫

歴史やいわれをより印象深い形で伝え、魅力を高めるため、施設の各所に、往時の状況を伝える案内を導入します。

<イメージ>

- 歴史ストーリーを案内サインに表示
  - ・飯山城魅力発信キャッチフレーズを伝えるサイン整備
- 飯山城のキャラクター開発による関心向上
  - ・子ども向けキャラクターがサインで歴史解説・案内
- 飯山城への入口を印象付ける演出
  - ・入口部へ上り旗の演出

## (2) 市民、観光客が一年を通じて楽しめる「まち庭公園」

現在、城山公園は、桜まつり、雪まつりの会場としてイメージが定着していますが、この他にも市内には様々な行催事が開催されていることから、市民会館の移転により生まれるまちなかの大きな芝生広場をサテライト会場とするなど、城山公園と関連付け、イベント活用を図ります。

また、利用者がいつでも楽しめることができる公園として活用を図るとともに、子どもから大人までが飯山城の歴史を学べ、魅力を知る機会を設けます。

### 【例1】様々な行催事の会場として利用

西曲輪の広場を中心に各種まちなか行事のメイン若しくはサテライト会場として活用を図ります。

<イメージ>

#### ○会場利用

- ・春 桜まつりメイン会場
- ・夏 花火大会観覧、灯籠まつり
- ・秋 花フェスタ、築城まつり
- ・冬 雪まつり

#### ○関連付けた催事の開催

- ・そば祭りー期間中は城山公園でもそばを提供

(参考) 市内の年間行事

(青字の行事は城山公園を会場とするか若しくは関連付けが期待できる行事)

#### 春

- ・飯山城跡桜まつり
- ・なべくら高原歩くスキー  
&雪上ウォーキング
- ・いいやま菜の花まつり
- ・戸狩ふれあいアート展
- ・富倉山菜まつり



#### 秋

- ・静間神社秋祭り
- ・奈良沢例大会
- ・五束太々神楽
- ・飯山市花フェスタ
- ・飯山えびす講
- ・新そば祭り

#### 夏

- ・奥信濃特産まつり
- ・祇園祭
- ・飯山寺町蓮まつり
- ・灯籠まつり
- ・千曲川河畔納涼煙火大会
- ・信越からす踊り大会



#### 冬

- ・いいやま雪まつり
- ・二年参り  
除夜の鐘イベント



### 【例2】家族連れが安心して遊べる新たなスポット

車で1時間～1.5時間程度の範囲の市町村からの来訪を促すための工夫として西曲輪にできる広場での楽しみ方を工夫します。楽しく遊べる芝生広場としてのサービスを提供し、地域の遠足等の利用拠点として定着させ、一帯のまちなか利用促進にも貢献します。



遊び道具を貸し出して芝生で遊ぶ  
(大型ボールの貸し出し)

<イメージ>

○遠足等の利用箇所としてのPR(雨よけもでき、遊び場もある)

○用具貸し出し

- ・芝生を活かした楽しみを提供(竹馬、大型ボールの期間限定貸し出し)

### 【例3】「和」を満喫する催事の定期的な開催

城のもつ「和」の雰囲気をもつ行事を季節ごとに開催します。

<イメージ>

○野点、菊花展、盆栽展、月見期間の茶屋の設置等の実施

### 【例4】夜間利用・冬季利用による非日常の体験の場としての活用

日ごろ城山公園では体験できない楽しみを大型の行事の際にプログラムの一つとして実施します。

<イメージ>

○夜桜見物、星空観察、晩秋のライトアップ ○雪による櫓像の復元

○スノーシュー体験、クロスカントリー体験

### 【例5】歩いて得する城のみちづくりー歴史探訪と健康づくりのみちー

来訪者、市民など多様な利用者層に広く効果を期待できる城内利用の方法として、飯山城の歴史を学べ、歩いて元気になる散策コースづくりを推進します。

<イメージ>

・音声ガイドマップによる城跡散策コースづくり

・城内での有用植物・薬用植物の植栽による修景と手持ちのマップや解説の作成

・消費カロリーの案内、歴史案内も含め、歩くことで得られる散策環境づくり(歩いて健康づくりにも役立つ散策路)

・園路のジョギングコースとしての利用



城内の散策マップを作成し、音声により、場所ごとの往時の状況、歴史ストーリーなど飯山城の魅力を解説。

「本丸の二重櫓は・・・」  
(時宗公頼の公の声で)  
「ここから眺める風景は・・・」

(事例 糸魚川市)

### 【例6】 タイムスリップ体験行事の開催

再整備を契機に築城記念の区切りの年或いは、年に1回、江戸や戦国の体験をテーマにした行事を開催し、城として印象を高め、存在をPRする機会として活用します。

#### <イメージ>

- 戦国～江戸時代の移動体験
  - ・よろいを着ての移動、乗馬による移動などの体験
- 記念撮影
  - ・ 武士や姫の格好をしたスタッフと記念撮影 等

### 【例7】 歴史・地域の学習の場としての活用

現地で飯山城を見て、知る機会を提供します。

#### <イメージ>

- 案内拠点施設、城内サインによる学校行事の歴史学習の場
- 遺構調査等における発掘体験
- 市民による礎石明示



(事例：甲府城での詰石体験)

## 6.3 推進体制の構築

活用計画に掲げた取組を実現するために、以下のとおり推進体制の充実を図ります。

### (1) 観光の拠点づくりにおける運営体制の充実

案内拠点施設における観光案内スタッフの配置、地元や市民団体との連携等を進めます。

#### ① ガイドスタッフの確保・育成

案内拠点施設の観光案内スタッフの配置のほか、市民向けの発掘体験やお城巡りなどの学習の機会を提供できるガイドスタッフとなる人材を確保・育成します。

また、飯山ふるさと案内人など既存の人材向けの勉強会などを通じて、飯山城、城下町案内に精通したスタッフと連携します。



(事例：名古屋城観光案内ガイド)

### (2) まちなか観光推進の仕組みづくり

歴史的資源の背景の中に潜む物語や展開は、来訪者の心を惹きつけます。飯山城をまちなか観光の拠点として活用し、これを切り口にツアーや旅を展開させるには、飯山城の歴史・魅力を活用した観光商品開発が必要です。

広域観光における活用を踏まえ、まちなか観光の拠点としての活用策を関係機関や部局が連携して展開します。



(飯山ふるさと案内人による案内)

### (3) 公園維持・管理体制の充実

誰もがいつでも楽しめる公園づくりにおいて、維持管理体制の充実が必要です。

#### ① 誰もがいつでも楽しめる公園運営・管理

子どもが安心して遊べる芝生広場や日常の散歩コースとして利用できるような公園の維持管理のため、専任スタッフの配置が必要です。



#### ② 交流や学習機会のある市民参加型の公園運営・管理

これまで関わっている団体・地元住民との連携のもとで維持管理を継続するとともに、整備時に民参加の芝生張りなどの体験の場を設け、更なる市民参加の拡大を図ります。単なる作業連携だけでなく、定期的な学習会、交流会を通じて飯山城を楽しめるようなスタイルでボランティアスタッフを募集し、更なる参加を促します。



### ③ 公園維持管理詰所

施設点検等の維持管理作業の詰所を以下の場所に確保します。

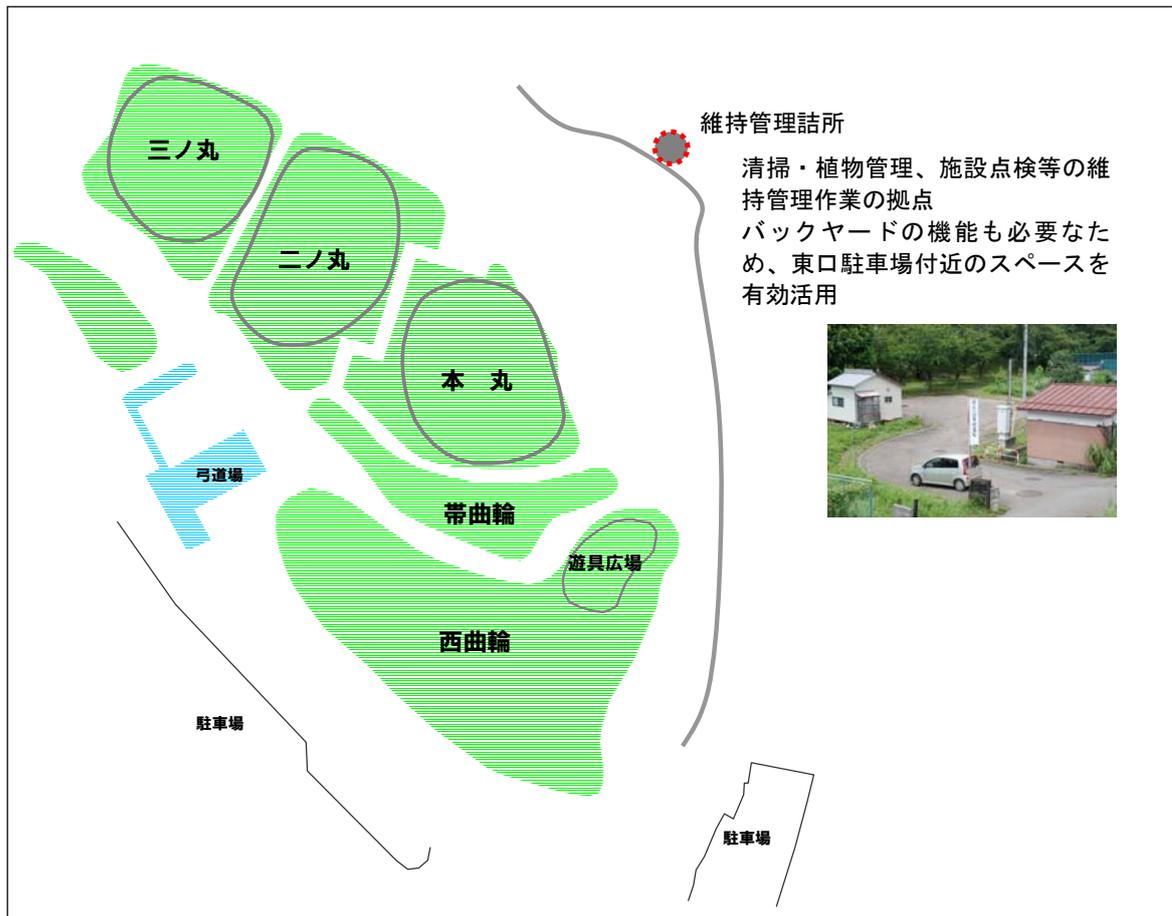


図 6.3.1 公園維持管理詰所の設置位置 (案)

### (4) 史料収集・調査体制の充実

「目指す姿」である江戸時代末期への復元のため、遺構の史料収集及び調査が重要です。

#### ① 遺構復元に関わる史料収集・調査

目指す姿である「江戸時代末期への復元」に向けて、史料収集、遺構調査などの体制の充実を図ります。

#### ② 情報提供の呼びかけ

江戸時代末期への復元を目指した整備計画を市民等に PRするとともに、引き続き、古文書・古写真など、史料の情報提供の呼びかけを行います。